



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社

コード番号 6445 URL <http://www.janome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 眞壁 八郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 岡部 知彦

TEL 042-661-3071

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,529	△1.6	590	△47.0	708	△27.7	380	△32.9
23年3月期第2四半期	17,811	6.1	1,115	518.4	980	—	567	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △430百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.97	—
23年3月期第2四半期	2.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	48,309	13,665	27.3
23年3月期	49,090	14,116	27.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,203百万円 23年3月期 13,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	△1.6	1,550	△26.7	1,100	△30.9	450	△43.7	2.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	195,214,448 株	23年3月期	195,214,448 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,893,125 株	23年3月期	1,892,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	193,321,612 株	23年3月期2Q	193,322,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 所在地別セグメント情報	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新興国が堅調な経済成長を続けた一方で、米国における失業率の高止まりや欧州財政危機の拡大懸念が払拭されないこと等から、景気回復が遅れております。

わが国経済においては、東日本大震災以降、各企業や自治体等の懸命な努力により、国内外に向けたサプライチェーンは予想を上回るペースで復旧が進みました。しかしながら、不要不急な購買を控えた影響等による個人消費の減少や長期的な電力供給不足への不安に加え、株価の低迷、歴史的な円高水準など、未だ混迷状況が続いております。

このような中、ジャノメグループにおきましては、成長分野へ経営資源を重点投入し、新興国市場を中心とする積極的な営業展開を行いました。急激な円高の影響、為替要因による原価率上昇、ならびに販売機種構成の変化等により、売上高17,529百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益590百万円（前年同期比47.0%減）、経常利益708百万円（前年同期比27.7%減）、四半期純利益380百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〈家庭用機器事業〉

海外市場におきましては、北米の量販店向け販売、欧州地域での代理店向け販売、相手先ブランド名での製造（OEM）は低調に推移しましたが、経済成長の著しいインドを含むアジア地域、ロシア、中東、ならびに統括事務所を開設した南米地域において、積極的に市場開拓へ注力したこと等により、新興国市場を中心に売上が増加しました。その結果、海外販売台数は83万台（前年同期比約13万台増）と伸びましたが、大幅な円高の影響を受け、売上高は10,173百万円（前年同期比0.6%増）にとどまりました。

国内市場におきましては、東日本大震災以降、消費者の節約意識が一段と高まり、家庭用ミシン、24時間風呂の販売はともに低調に推移しました。特に家庭用ミシンにおいては、国内販売台数は11万台（前年同期比約4千台増）と増加したものの、低価格志向の影響を受け、売上高は3,961百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

以上の結果、家庭用機器事業の売上高は14,135百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益414百万円（前年同期比51.6%減）となりました。

〈産業機器事業〉

産業機器事業におきましては、中国市場におけるサービス・販売の強化に向け上海営業拠点を開設、新機種投入による積極的な営業活動などにより、卓上ロボット、エレクトロプレスの販売は好調に推移しました。

一方、ダイカスト部品関連事業につきましては、東日本大震災後の自動車関連業界における生産調整や電力使用制限等により国内企業の生産活動が低調であったこと等の影響を受け、受注は伸び悩みました。

この結果、産業機器事業の売上高は、売上高2,093百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は204百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

〈その他事業〉

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに不動産賃貸収入を加えた、その他事業の売上高は、IT関連投資の抑制が続いたことから1,300百万円（前年同期比9.2%減）となり、営業損失につきましては、3百万円（前年同期は21百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は48,309百万円（前連結会計年度末比781百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により19,053百万円（前連結会計年度末比332百万円減）となりました。固定資産は減価償却による減少等により29,256百万円（前連結会計年度末比448百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金等の増加により17,242百万円（前連結会計年度末比304百万円増）となり、固定負債は長期借入金等の減少により17,401百万円（前連結会計年度末比634百万円減）となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の減少等により13,665百万円（前連結会計年度末比451百万円減）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から931百万円減少し、5,860百万円（前年同期比1,553百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益638百万円、売上債権の増加1,097百万円、たな卸資産の増加718百万円、仕入債務の増加717百万円などによる資金の増減があり、21百万円の資金の減少（前年

同期比954百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等の有形固定資産取得による支出225百万円、ソフトウェア等の無形固定資産取得による支出221百万円などにより、436百万円の資金の減少(前年同期は275百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加521百万円、長期借入れによる収入1,900百万円、長期借入金の返済による支出2,687百万円などにより、315百万円の資金の減少(前年同期は3,078百万円の資金の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月には史上最高の円高を記録するなど為替の先行きが不透明になっております。また、米国をはじめ、欧州の財政状況の混迷により、景気回復のスピードが減速傾向にあるなど、業績に対する不確定要因が増加していることを勘案し、通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に「平成23年3月期決算短信」において公表した当初の見通しを据え置いております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,442	6,526
受取手形及び売掛金	5,589	5,924
商品及び製品	3,401	3,331
仕掛品	469	611
原材料及び貯蔵品	1,643	1,876
その他	954	884
貸倒引当金	△114	△102
流動資産合計	19,385	19,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,778	6,510
土地	15,886	15,756
その他（純額）	2,120	1,999
有形固定資産合計	24,785	24,265
無形固定資産		
のれん	833	750
その他	876	1,057
無形固定資産合計	1,709	1,808
投資その他の資産	3,209	3,182
固定資産合計	29,704	29,256
資産合計	49,090	48,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,902	3,220
短期借入金	11,081	11,289
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	252	172
賞与引当金	412	463
その他	2,228	2,036
流動負債合計	16,937	17,242
固定負債		
長期借入金	8,017	7,366
再評価に係る繰延税金負債	5,061	5,047
退職給付引当金	4,255	4,302
その他	702	685
固定負債合計	18,036	17,401
負債合計	34,973	34,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	823	823
利益剰余金	△2,174	△1,773
自己株式	△325	△325
株主資本合計	9,697	10,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	△3
繰延ヘッジ損益	△17	△15
土地再評価差額金	5,964	5,944
為替換算調整勘定	△2,061	△2,820
その他の包括利益累計額合計	3,905	3,105
少数株主持分	514	461
純資産合計	14,116	13,665
負債純資産合計	49,090	48,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	17,811	17,529
売上原価	10,015	10,270
売上総利益	7,795	7,259
販売費及び一般管理費	6,680	6,668
営業利益	1,115	590
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	18	19
為替差益	13	281
助成金収入	7	—
受取和解金	73	—
その他	60	57
営業外収益合計	185	368
営業外費用		
支払利息	227	208
その他	91	42
営業外費用合計	319	250
経常利益	980	708
特別利益		
固定資産売却益	117	8
事業譲渡益	49	—
特別利益合計	167	8
特別損失		
投資有価証券評価損	68	28
固定資産除売却損	26	36
環境対策引当金繰入額	16	—
事業再編損	111	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	55	—
減損損失	—	13
特別損失合計	276	78
税金等調整前四半期純利益	871	638
法人税、住民税及び事業税	221	205
法人税等調整額	108	34
法人税等合計	329	240
少数株主損益調整前四半期純利益	541	398
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	17
四半期純利益	567	380

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	541	398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△22
繰延ヘッジ損益	△20	2
為替換算調整勘定	△525	△809
その他の包括利益合計	△534	△829
四半期包括利益	6	△430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59	△398
少数株主に係る四半期包括利益	△52	△32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	871	638
減価償却費	445	458
のれん償却額	83	82
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△176	104
受取利息及び受取配当金	△29	△29
支払利息	227	208
投資有価証券評価損益 (△は益)	68	28
売上債権の増減額 (△は増加)	△235	△1,097
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△683	△718
仕入債務の増減額 (△は減少)	549	717
その他	261	△1
小計	1,381	392
利息及び配当金の受取額	30	36
利息の支払額	△187	△202
法人税等の支払額	△292	△248
営業活動によるキャッシュ・フロー	932	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34	△34
定期預金の払戻による収入	16	57
有形固定資産の取得による支出	△211	△225
有形固定資産の売却による収入	176	65
その他	△223	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275	△436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,792	521
長期借入れによる収入	2,700	1,900
長期借入金の返済による支出	△1,941	△2,687
その他	△44	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,078	△315
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	△158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,562	△931
現金及び現金同等物の期首残高	6,869	6,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,307	5,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,241	2,137	16,378	1,432	17,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	414	433	489	922
計	14,261	2,551	16,812	1,922	18,734
セグメント利益	855	259	1,115	21	1,136

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,115
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	△21
四半期連結損益計算書の営業利益	1,115

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,135	2,093	16,228	1,300	17,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	511	528	563	1,092
計	14,152	2,604	16,756	1,864	18,621
セグメント利益又は損失(△)	414	204	619	△3	615

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	619
「その他」の区分の損失(△)	△3
セグメント間取引消去	△24
四半期連結損益計算書の営業利益	590

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

当社の退職金制度の内、適格退職年金制度にかかる部分について平成23年11月1日から確定拠出年金制度に移すことといたしました。移行にあたっては、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用する予定であります。なお、本移行に伴う損益に与える影響額については算定中であります。

4. 補足情報

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	12,175	2,680	336	2,618	17,811	—	17,811
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,836	—	7,286	3	12,126	(12,126)	—
計	17,012	2,680	7,622	2,621	29,938	(12,126)	17,811
営業利益	712	205	253	201	1,373	(258)	1,115

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	12,367	2,111	444	2,606	17,529	—	17,529
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,593	—	7,285	1	10,879	(10,879)	—
計	15,960	2,111	7,729	2,607	28,408	(10,879)	17,529
営業利益	252	150	21	141	566	24	590

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,895	4,005	3,889	10,790
II 連結売上高（百万円）				17,811
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.3	22.5	21.8	60.6

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,265	4,092	4,553	10,911
II 連結売上高（百万円）				17,529
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.9	23.3	26.0	62.2

（注）1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米………米国、カナダ

② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米